

令和 2 年度
第 2 回加賀市健康福祉審議会高齢者分科会会議録

日 時：令和 2 年 8 月 2 0 日（木）午後 1 時 3 0 分～2 時 3 0 分

場 所：加賀市役所別館 3 階 3 0 1 会議室

出席委員：◎橘、鈴木、河嶋、○吉野、浅野、本間、中野、中村、石川、澤田、見付、
鹿野、中屋

欠席委員：小林、湯谷、寺田、荒木 (敬称略・◎会長、○副会長)

次第

開 会 議 題

1. 介護保険制度改正等の動向について 【資料 1】
2. 将来人口要介護認定者数の推計等について 【資料 2】
3. お達者プランの策定状況について
- (1) 在宅介護実態調査について 【資料 3 - 1】
- (2) 介護サービス供給量調査について 【資料 3 - 2】
4. 介護人材の確保等について 【資料 4】
5. 介護サービス等の供給量の確保について 【資料 5】
6. 地域密着型サービス事業者の指定等について 【資料 6】

閉 会

議事要旨

議題 1 介護保険制度改正等の動向について 資料 1

質疑応答

本間委員 (資料 1 の) 3 ページの 5 番の社会福祉法人連携推進法人制度の創設について、どのような制度なのか簡単にご説明頂きたい。

事務局 社会福祉法人は全国的にたくさんあるが、なかには 1 施設 1 法人で運営されているものがあり、そういった法人は経営基盤が弱かったり、サービスの種類が例えば高齢者のサービスだけや、障害者のサービスだけになり対応できる範囲が限られてしまう。そういう法人は合併するののも一つの方法だが、一般の会社で云うホールディングのように法人をまとめてグループとして動かせる形を作ろうという制度である。

議題 2 将来人口要介護認定者数の推計等について 資料 2

質疑応答 特になし

議題3 お達者プランの策定状況について 資料3-1、資料3-2

- (1) 在宅介護実態調査について
- (2) 介護サービス供給量調査について

質疑応答 特になし

議題4 介護人材の確保等について 資料4

質疑応答

本間委員 (資料4の) 4ページの基本指針には「2025年・2040年を見据えたサービス基盤、人的基盤の整備」とあるが資料2の表では、令和7年までの高齢者の推移の表しかない。箱物や地域密着型サービスの一部を整備する上で、8期はいいけど9期や10期では余ってしまうということがないように2025年や2040年の推計も行って頂きたい。

事務局 2040年を見据えた推計を行って計画に反映していきたい。

中屋委員 (資料4の) 4ページの家事支援サポーター養成講座修了生の情報を事業者協議会に提供したとのことだが、私も修了生の1人であり、どのようなアクションを修了生に対して行っているのか。

事務局 修了された49名の方に意向を確認したところ、13名の方が施設等でお手伝いが可能とお返事を頂きましたので、そういった方々を事業者協議会を通じて各法人に情報提供を行いました。その後、事業所と修了生との間でマッチングを行います。

議題5 介護サービス等の供給量の確保について 資料5

質疑応答 特になし

議題6 地域密着型サービス事業者の指定等について 資料6

質疑応答 特になし

橘会長 それでは、共生型サービスについては事業者より指定申請があれば指定の手続きを進めていただくということによろしいですか。それではよろしくお願ひします。

閉会